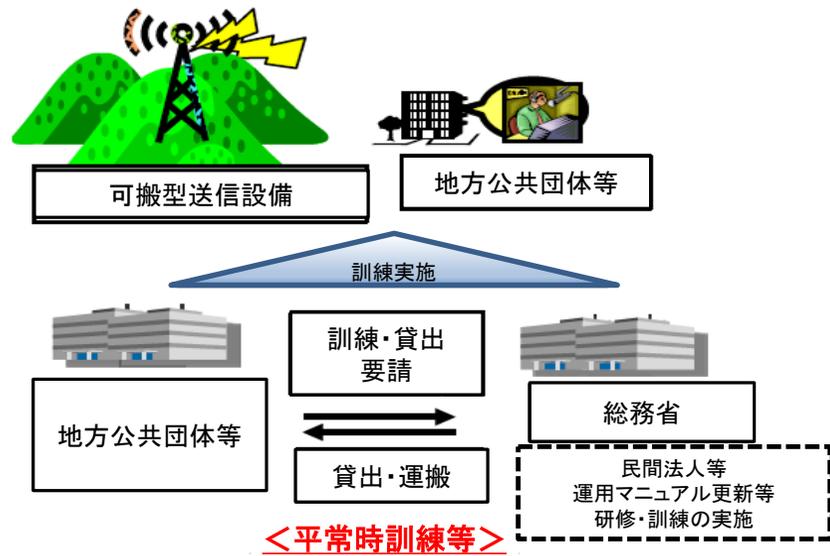
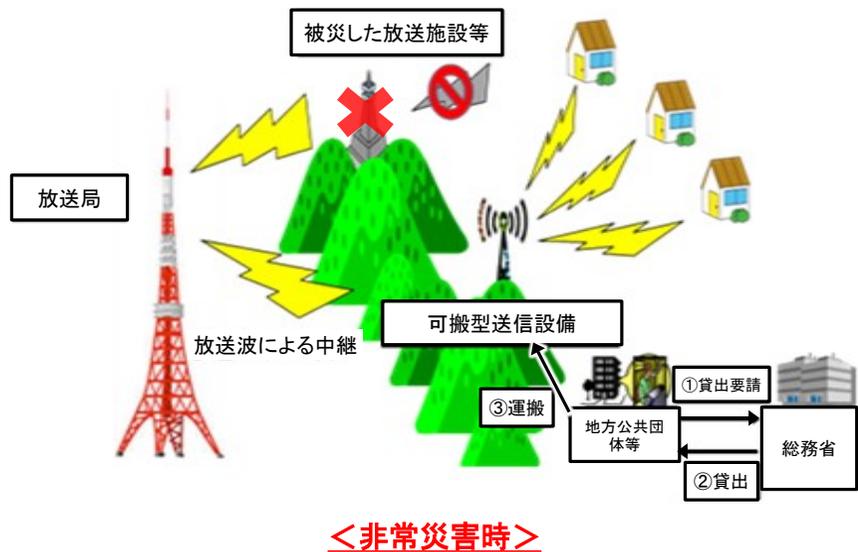


地上テレビジョン放送用可搬型送信設備は、大規模災害時において、地上テレビジョン放送の中継局や共聴施設が被災し、被災地で地上テレビジョン放送が受信できなくなる場合に備えて、中継局や共聴施設の機能を一時的に代替するための可搬型の予備送信設備です。大規模災害時に地方公共団体等の要請により速やかに貸し出しを行い、被災地を支援する運用体制を整備しています。



送信アンテナ一式



送信アンテナ組立後

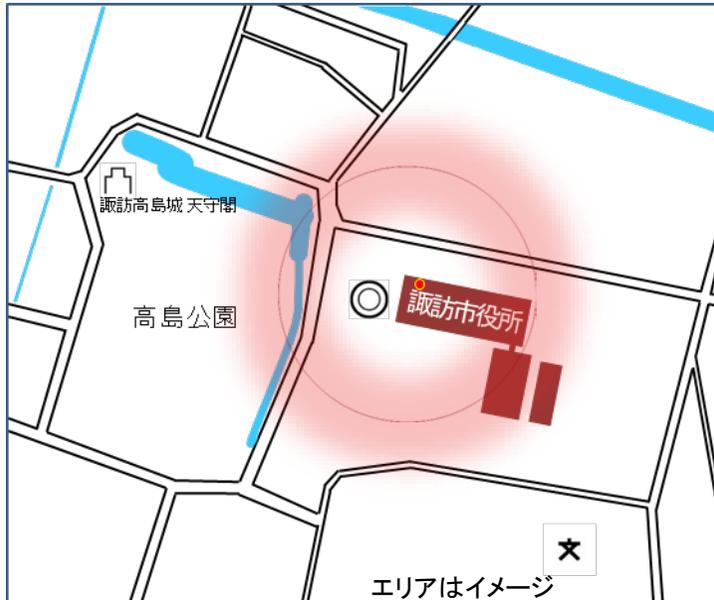


可搬型送信設備
(地上デジタル非常用送信機)



諏訪地区における地上テレビジョン放送送信実験の概要について

- ・ 大規模災害が発生した想定により、諏訪広域連合を代表して諏訪市の要請により地上テレビジョン放送用可搬型送信機を貸し出す際の、手順の確認についても実施します。
- ・ 諏訪市役所庁舎の会議室に送信機、屋上にアンテナを設置し、地デジ(フルセグ)の電波を発射して周辺における受信実験を行います。なお、通常放送の受信に影響を与えないよう、今回の実験では10mW (ミニサテライト相当)の微弱な電波とします。
- ・ 建物に設置した地デジ受信機(フルセグ)や車に設置したワンセグ受信機で受信ができることを確認します。
- ・ 送信する内容は、NHK及び民放の放送番組ではなく、地元ケーブルテレビ事業者であるエルシーバイ株式会社制作の独自のコンテンツとし、災害時に地方公共団体が被災した方々に情報提供をするイメージにより実施します。



地デジ受信機(フルセグ)



車載受信機(ワンセグ)